

1 題材名 曲想を味わおう

2 題材の目標

- リズムや旋律，速度や強弱のかかわり合い，変化によってつくられる楽曲の構造を理解して聴く活動に主体的に取り組む。 (音楽への関心・意欲・態度)
- 互いの楽器の音，リズムや旋律の重なり，反復や変化を聴き取り，それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら，曲想の変化に合う表現を工夫する。 (音楽表現の創意工夫)
- 曲想を生かした表現の工夫をしながら演奏することができる。 (音楽表現の技能)
- 曲想とその変化や，オーケストラの響きと和音の移り変わりとかかわり合いから，想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして，楽曲の特徴や演奏のよさを理解して聴く。 (鑑賞の能力)

3 題材について

本題材では「威風堂々 第1番」を取り扱う。この曲はA B A Bの構成となっているだけでなく，A，Bそれぞれのまとまりの中にも同じ旋律が繰り返し演奏されている。そのため，〔共通事項〕のなかの「反復」に着目して鑑賞することで，楽曲の構造を理解し，曲想を味わうことができる教材である。

本学級の児童は，音楽が好きな児童が多く，特に，歌唱や器楽，音楽づくりを好む児童が多い。しかし鑑賞の学習においては，ただ聴くだけの学習と捉えている児童が多く，授業に対する受け身の姿勢が見られることがあった。〔共通事項〕については，音色や速度，強弱といった音楽を特徴付けている要素や，「問いと答え」「反復（繰り返し）」などの音楽の仕組みについては，少しずつ聴き取ることができるようになってきた。しかし，それらの音楽を特徴付けている要素や音楽の仕組みが互いにかかわり合って，楽曲の構造がつくられ，曲想を生み出していることについては学習の経験が少ない。

そこで〔共通事項〕を提示し，そこから曲想について音楽を特徴付けている要素や音楽の仕組みと結び付けて考え，鑑賞ができるようにしていく。具体的には，これまでの音楽の授業で学習してきた〔共通事項〕と「鑑賞ポケット」を掲示し，〔共通事項〕の視点から，今回聴いた楽曲に適した言葉はどれかを選べるようにする。掲示することによって，〔共通事項〕を楽曲の特徴を考える際の手がかりになるようにしていく。さらに楽曲の特徴的なリズムをリズムカードにし，リズム打ちをすることによって，音に関係なく，同じリズムが出てきたことに気付くことができるようにするとともに，同じリズムが出てきたときに，ワークシートに色を塗りながら聴く活動と，シールを貼りながら聴く活動を行うことで，「反復（繰り返し）」があることを一目で気が付き，その効果を味わって聴いたり演奏に生かしたりできるようにしていきたい。

4 指導計画と評価規準（5時間扱い）

次	時	学習内容	評価規準
1	1	「つるぎのまい」 ○既習の楽曲の曲想と変化，楽曲の構造	○2曲の楽曲の曲想と変化，楽曲の構造を感じながら聴いている。

	2	を復習する。 「威風堂々」第1番	(鑑賞の能力)
	3	○曲想と変化，楽曲の構造を理解する。 ○〔共通事項〕を視点として，アとイの要素や仕組みから楽曲の特徴を感じ取る。	○曲想とその変化や楽曲の構造を理解して聴いている。(鑑賞の能力) ○〔共通事項〕の視点で感じ取ったことを言葉に表しながら，楽曲の特徴を聴き取っている。(鑑賞の能力)
2	4	○楽曲の特徴を生かして演奏する。	○楽曲の特徴を生かして，演奏している。(音楽表現の創意工夫)
	5	○発表会をする。	○互いの楽器の音，反復や変化を聴き取り，曲想の変化に合う表現を工夫し，どのような演奏をするかについて思いや意図をもっている。(音楽表現の技能)

5 本時の指導

(1) 本時の目標

- 〔共通事項〕の視点で感じ取ったことを言葉に表しながら，楽曲の特徴を理解して聴く。

(鑑賞の能力)

(2) 展開

学習内容・活動	指導上の留意点・評価
<p>1 前時を想起し，威風堂々の構成を確認する。</p> <p>2 本時のめあてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>楽曲の特徴を見つけよう。</p> </div> <p>3 〔共通事項〕を確認する。 (要素) 音色・リズム・速度・旋律・ 強弱・拍の流れ・フレーズ・ 音の重なり・音階・和声の響き (仕組み) 反復(繰り返し)・問いと答え・ 変化・音楽の縦と横の関係</p> <p>3 リズムカードのリズムを確認する。</p> <p>4 「威風堂々」第1番を聴く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・楽曲の構成がA B A Bになっていて，曲想が変わっていたことを確認する。 ・要素や仕組みは〔共通事項〕の言葉を使って見つけるよう声かけをする。 ・〔共通事項〕を掲示しながら確認をする。 ・今回は「反復(繰り返し)」に絞って聴けるようにする。 ・威風堂々のリズムカードを提示し，手拍子でリズムが打てるように支援する。

<p>(1) 1曲を通して聴き、構造の確認をする。</p> <p>(2) ワークシートに色を塗りながら、1曲を通して聴く。</p> <p>(3) ペアでシールを貼りながら聴く。</p> <p>5 AとBの仕組みを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Aの中にも同じリズムの繰り返しがある。 ・Bの中にも同じリズムの繰り返しがある。 ・Bの1回目と2回目で音の高さが変わる。 <p>6 もう一度「威風堂々」第1番を聴く。</p> <p>7 「威風堂々」第1番の特徴をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・繰り返しがたくさんあっておもしろい。 ・リズムの繰り返しがたくさんあるところがよい。 ・AとBが繰り返すところがおもしろい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想が変わったところでAとBの表示を変えるよう声かけをする。 ・ワークシートに色を塗りながら主体的に聞けるようにする。 ・AとBの音源を用意し、比べながら聴けるようにする。 ・ペアでシールを貼りながら主体的に聴けるようにする。 ・友達が発表した要素や仕組みに気付かない場合には、曲を聴きながら確認をする。 ・なかなか書き出せない児童がいる場合にはペアやグループで考えるよう声をかける。 ・音の高さについての発表があった場合は、楽譜を提示して確認する。 ・要素や仕組みを全体で確認できるように、曲を聴きながら声をかけたり、板書を指さしたりする。 ・要素や仕組みから曲想がどのように変わったのかを <div data-bbox="801 880 1407 992" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>⑧ 【共通事項】の視点で感じ取ったことを言葉に表しながら、楽曲の特徴を聴き取っている。 (ワークシート)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 書くように声を掛ける。 ・次時では、今回見つけた特徴をもとに「威風堂々」第1番を演奏することを伝え、意欲をもたせる。
---	--